

③個人追究:計算方法を，線分図等を用いて説明する。

②学習課題:0.3×4＝1.2となることを，0.1のいくつ分をもとに説明しよう。

②見通し:繰り上がりがあるので，どのように計算したらよいか。

→前時と同じように，0.1をもとに考えればよい。

①本時を構想する上でポイントとなる素地

○問題解決のための知識・技能

・1本あたりの量が小数になっても，何本分を表す量はかけ算で求められることを理解している。

○既習とつなぐ見方・考え方

・0.1を単位にすると，0.2×4は2×4に帰着できることを学習している。0.2×4＝0.1×（2×4）

教材研究ノート№4-A-10

④共同追究後半（思考を深める）

「0.3×4＝1.2ではなく，三四12で，0.12ではないのか?」

→「線分図で0.3の4つ分は0.1の12個分だから1.2になる。」

「0.12では，4倍しているのに，もとの0.3より小さくなってしまいおかしい。」

⑤まとめ（児童生徒の言葉で）

・小数のかけ算も，0.1を基準にすると，1を基準にした整数のかけ算と同じように考えることができる。

・整数をかけると，もとの数より大きな答えがでてくる。

④共同追究前半（解法の比較検討）

「どちらの方法にも共通していることはなんだろう？」

→「どちらも0.1をもとに3×4を利用して計算している。」

⑥定着･活用問題

ひろし君は，0.6×3の計算を，次のように

考えました。

0.6×3＝6×3÷10

ひろし君の計算の方法を説明しましょう。

≪学習問題≫

1本0.3ℓのジュース，4本分では

全部で何ℓになるでしょう。

≪定着・活用問題≫

授業計画･実施記録

主眼

≪学習問題≫

＜本時の展開に当たっての留意点＞

・絵図や線分図をかいて立式，説明という流れがまず浮かぶが，式と結果が先にあり，そのことを絵図や線分図で説明するという流れが自然である。

・3×4＝12（かけ算九九）が使えるという理由を，小数の意味にもどって説明することになる。小数の意味理解を深めるという視点でも，共同追究後半を扱いたい。